

救急車の利用は適正に

市消防本部発表の平成26年中の火災・救助・救急の災害概要（速報値）によると、26年中の市内救急出動件数は6,231件。これは、前年より13件多い過去最多の件数です。救急出動件数は年々増加の一途をたどっており、座間市、綾瀬市でも同様の傾向にあります。しかし、実際に搬送された患者のうちの半数は入院を必要としない軽症の方であり、この中には救急車を利用する必要のなかった方も含まれています。

共同運用を始めたことで管轄する範囲が広がり、救急車の適正利用はさらに重要になり

ました。119番通報の方法は今までと変わりません。救急車や救急医療を本当に必要とする方が確実に利用できるよう、救急車の適正利用へのご理解とご協力をお願いします。



こんな時は 迷わずに119番



救急車を要請するべきか自分で判断ができないこともあります。下記に当てはまる場合は、ためらわずに救急車を呼んでください。



- 頭・胸・背中・腹などの突然の激痛
- 急な息切れや呼吸困難
- 意識障がいやけいれん
- 突然、腕や足が片側だけ動かなくなる
- 事故（大量出血・大やけど・溺れたときなど）

これは駄目!! タクシーではありません



救急車の利用に料金はかかりませんが、病院での診察費用などは自己負担です。また、個人の都合のために使用することはできません。救急車を要請する前には、冷静に状況の判断をし、緊急性のない場合は救急車を使わないようにしてください。

過去にあった実例

- 救急車で行けば早く診察してもらえるから
- 今日は病院の診察日だから
- 自家用車がなく、タクシー代もないから
- 受診するお金がないから
- 歯が痛いので日中に行けなかったので夜間に診察してほしいから



▲広域災害などにも確実に対応。3市が連携して共同運用の効果を発揮

車載端末装置の機能向上

3市全ての消防車や救急車に搭載している車両運用端末装置の機能向上を図りました。GPS（衛星利用測位システム）を活用し、即時に車両の位置や活動状況などを把握することができます。

最先端のシステムを導入

同センターには、最大12件の119番通報が同時に受信できる高機能消防指令システムなど、最先端のシステムを導入しています。これらの機器関係の維持管理経費や更新費用は3市で案分、経費節減を図ります。

統合型位置情報通知システム

統合型位置情報通知システムを設置し、119番受信時に、ほぼ全ての通報場所を自動的に特定することが可能になりました。これにより、災害現場を迅速・的確に把握し、各署所へ災害出場を指示する所要時間が短縮できます。

聴覚や言語に障がいのある方のための緊急通報システム（Web119）を導入

同センターの運用開始に合わせて、新たに聴覚や言語に障がいのある方の緊急通報システム（Web119）を導入しました。これは、

このほか、災害地点特定と同時に災害の種類に応じて車両を選別し、出動部隊を自動的に編成する機能、車両が現場に近づくとも地図画面が広域地図から詳細な住宅地図に変わっていく機能、他の車両の位置情報や水利・道路障害などを確認できる機能も備え、車両にいなから指令センターと同等の情報が入手できるようになっています。

事前に登録申請を行うことで、携帯電話やスマートフォンからインターネットを利用して119番通報ができるシステムです。自宅の位置を登録しておけば、スマートフォン画面で「自宅」を選択するだけで通報が可能になるほか、「外出先」を選択するとGPS機能で現在地を特定し、通報することができます。サービスの対象エリアは原則として海老名・座間・綾瀬の3市内となり、対象エリア



▲（上・右下）119番通報入電時、瞬時的確な判断を下す最前線の消防職員たち

◀（左下）指令センターは柏ヶ谷小学校に隣接



外からの通報はその管轄区域の消防本部に連絡して対応します。登録方法などは警防課（☎231・0921）へ問い合わせ、または市ホームページをご覧ください。